



星を



観

る

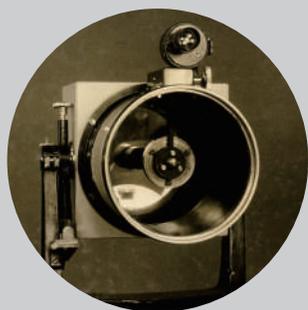


鏡

日

々

を



写

す

鏡

～ 京都で産まれた反射望遠写真機 ～

2026 3.21 sat - 6.19 fri

9:00-16:30
(最終入場 16:00) 土・日・祝日を除く

会場 京都産業大学
神山天文台

料金 入場
無料



◎お問合せ
京都産業大学神山天文台 075-705-3001
主催: 京都産業大学 協力: 西村製作所、日本カメラ博物館 他

スケジュール・アクセスの
詳細は [神山天文台HP](#) を
ご覧ください。 ▶▶



星を観る鏡 日々を写す鏡

～京都で生まれた反射望遠写真機～



Telescope and Camera

日本の望遠鏡産業は1926（大正15）年に始まりました。京都では中村^{かなめ}要と西村^{めつき}製作所が鍍銀ガラス鏡を使った反射望遠鏡を製作し、東京では五藤光学研究所が国産屈折望遠鏡の販売を開始します。

そして1938（昭和13）年にもう一つの「光学系技術」が誕生します。レンズの入手が困難な中、京都帝国大学の藤波^{しげつぐ}重次と宮澤^{たかし}堂が、レンズの代わりに「反射鏡」を使用した「カセグレン式反射望遠写真機」を開発しました。これを契機に、宮澤堂と西村製作所による「ミヤニ式」、藤波重次と朝日新聞による「朝日・藤波式」など、国産反射望遠写真機が次々と誕生し、望遠レンズの代用品として戦時下を経て発展を続けます。

その後、宮澤堂は花山天文台の仲間と「関西光学研究所」を設立し、京都・山科で反射望遠写真機や望遠鏡の製造・販売を開始しました。本展では、宮澤堂が遺した資料とともに、京都で生まれた反射望遠写真機をご紹介します。

2026
3.21 sat
|
6.19 fri

会場 京都産業大学 神山天文台

月曜～金曜 9:00-16:30

休館日 土曜不定休

日曜、祝日、大学の一斉休業日

※詳しくは神山天文台 HP のイベントカレンダーをご確認ください。

料金 入場無料



京都産業大学 神山天文台

〒603-8555 京都市北区上賀茂町本山

TEL 075-705-3001 FAX 075-705-3002

URL <https://www.kyoto-su.ac.jp/observatory>

- 地下鉄 北大路より市バス（北3系統）にて約15分
- 地下鉄 国際会館より京都バス（40系統）にて約10分

※京阪 出町柳駅発の京都バスは、土日祝日、休校日は便数が極めて少なくなります。
※二軒茶屋駅、上賀茂神社発のシャトルバスは、日・祝日は運休です。

- 館内での飲食は（指定の場所を除いて）ご遠慮いただいております。
- 来場者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
- 神山天文台までは階段・坂道がございます。特別なお手伝いが必要な方や歩行が困難などで車でのお来場をご希望の方は、事前にご相談ください。



神山天文台マスコットキャラクター
ほしみ〜るちゃん®



instagram
@koyama_tenmondai



X (旧 Twitwetw)
@KSU_KoyamaObs